

給食だより

第1号
令和3年度1学期
作成／瀬戸市栄養教諭・学校栄養職員
発行／瀬戸市学校教育課 学校給食係
(給食センター)

未来を変えるSDGsと食との関わり

世界では、貧困・紛争・テロ・気候変動・資源の枯渇など数多くの課題に直面しています。このような危機感から、世界中の人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030年までに達成すべき具体的な目標が国連サミットで採択されました。これが、「SDGs（持続可能な開発目標）」です。SDGsには、「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」「すべての人に健康と福祉を」「質の高い教育をみんなに」等、全世界共通で17の目標(図1)が定められています。貧困層や難民などの弱者をはじめとして、地球上の「誰一人取り残さない」を合言葉に、先進国も開発途上国もすべての国において達成すべき目標がSDGsです。国際機関、政府、企業だけでなく、**子どもたちを含めたすべての人が、目標達成のために行動することが求められています。**

SDGsと食は、深く関わっています。**第1号は、食がSDGsのどの目標にどのようにつながっているのかをまとめました。**未来の子どもたちのために、地球のために、食を通して自分に何ができるのかを知り、家族で考えるきっかけにしてください。日々の生活の中にも、未来を変えるヒントが多くあります。

図1 全世界共通 17の目標



SDGsと食との関わり

SDGsの17の目標は、それぞれが関係し合っています。私たちの食の営みの一つひとつが複数の目標に同時につながり、目標達成を目指します。

日本の子どもの7人に1人が相対的貧困です。豊かな日本で十分に食べられず苦しんでいる人たちがいます。

バランスのとれた食事をする。

食品の安全に関心と正しい知識をもつ。

特に食と関連が深い「地場産物の活用」と「食品ロス」について、第2号と第3号で詳しく取り上げます。



質の高い教育をみんなに

質の高い教育は、すべてのSDGs達成に関わる重要な要素です。質の高い教育により、世界の課題を知り、人に健康で持続可能な生活を送る力や、貧困の連鎖を断ち切る力を与えます。

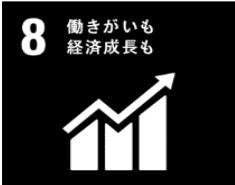
心を豊かにし、心の貧困を減らします。



家族や友人と一緒に楽しく食べる。



日本の食文化や郷土料理を知り、継承する。



貧困と飢餓は密接に関係しています。

男女共に協力して料理を作ったり、食を楽しんだりすることがジェンダー平等にもつながります。

CO2排出を減らすことが、海水温の上昇や気候変動による砂漠化などを防ぎ、海や陸の生き物を守ることに繋がります。



食品表示を見て必要な情報を得て購入することも健康につながります。

期限切れになる前の食品をフードバンクや子ども食堂に寄付する。



食べ物の生産には多くの水が使われています。食料の多くを輸入している日本はその食料の生産に必要な水を輸入していることと同じです。

地域の活性化につながります。

食料を輸送する際の距離を短くすることや食生活に関わるゴミを減らすことがCO2排出量を減らします。



食べる分だけ購入する。料理を作り過ぎない。食べ残しをしない。(食品ロス削減)

ストロー、ビニル袋などの海を漂うプラスチックゴミで死んでしまう生き物を減らすことにもつながります。

マイ箸、マイボトル、エコバックを使う。

